

## 「超音波検診における腎疾患の研究」について

### ○ 研究の意義・目的

腹部超音波検査は、多数の臓器を観察することができる有用な検査です。2021年には腹部超音波検診判定マニュアルが改訂され、超音波所見や判定の基準が明確化、検診の質や客観性の向上が期待されております。また、検査機器の進歩に伴いより詳細な観察も可能になり、超音波検診としての精度や有効性についての評価が求められています。今回、腹部超音波検査での腹部疾患の発見率、及び背景因子を調べることにより、今後の健康診断に生かすことは重要と考えられますので、調査を行います。

### ○ 研究対象者

2013年4月1日から2020年3月31日までに、順風会健診センターで腹部超音波検査を受診された方を対象とします。

### ○ 研究方法

本研究は、診療録(カルテ)情報を用いて行います。カルテから転記する内容は性別、年齢、病歴、検査結果、腹部超音波検査結果などです。個人が特定できる情報は転記しません。また、他院からの検査画像の使用をする場合があります。対象となる方には文書にて使用承諾を得ます。この際も、個人が特定できる情報は記載いたしません。

### ○ 研究期間

2021年4月1日～

### ○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。個人を特定する形で情報が公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

\*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。お申し出があった場合には、研究対象者が識別される情報の利用を停止いたします。

.....

お問い合わせ先

住 所：790-0822 愛媛県松山市高砂町2丁目3-1 順風会健診センター

電話番号：089-911-2111

研究担当者：渡邊 早苗